

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和 6 年10月4日 中津東地区まちづくり推進協議会・中津東地区区長会

司会

市民と市長との対話集会ということで各部長や事業の役員の方にはお集まりいただきありがとうございます。また、市長もお忙しい中ありがとうございます。

早速始めたいと思うが、まずはまちづくり推進協議会会長、一言お願いします。

代表あいさつ

この対話集会は市長が選挙公約で話していたこと。我々も大変嬉しく思っている。事前アンケートをもとに決めたテーマで進める。1 時間なので、無駄な時間を使わないように、帰った後に満足できる会合にしたいと思う。

司会

ありがとうございます。それでは市長、一言ごあいさつお願いします。

市長

区長会やまち協の皆さん、貴重な時間をありがとうございます。公約で市民の皆さんとの対話集会を掲げ、今年 1 月に就任、3 月にアナウンスし、4 月から始めて今日で 21 回目になる。対話集会はテーマを決めてお互いに意見交換する形で進めている。限られた時間の中、全員が話すのは難しいかもしれないが、また機会があればと思う。中心市街地にある東地区が盛り上がるのが中津川市の盛り上がりの1つ。まちづくりに関わっている皆さんの貴重なご意見を頂きたい。

司会

ありがとうございます。この対話集会ではまちづくりについての建設的な意見交換をということで、あらかじめテーマを決めている。1 つ目は中心市街地の活性化、2 つ目は駅前再開発。フリートーク形式で進行する。

参加者

今、中津川市や全国的にも問題になっているのが少子化と災害。上下水道の審議委員として常々感じるが、中津川市のインフラが整う中で、災害や少子化を考えたときにそれが重荷になる可能性がある。どう何を置き換えていくか検討しながら、まちづくりを考える必要がある。中心市街地であれば駅周辺には商業施設を置き、居住地としては避けるなど、住み分けが必要と感じる。あれが欲しい、これが欲しいではなく、少子化・災害対応を組み込んだまちづくりが必要。

市長

少子化と災害については、お話のとおりエリアを区切っていくことは重要だが、少子化には特効薬的な解決策がない中、移住を促進するのが1つの方法。これまでの対話集会で、各地区のいろいろな取り組みを聞いているが、この中心市街地の皆さん以外の地域では、移住してきた方が原動力となった移住者を増やそうといった動きがある。そのような移住してきた方たちの力を借りるのも1つ。

災害については自助力の強化と自主防災組織の機能強化が必要。

参加者

地域の力を上げようとそのような集団を作りたいと思うが、最近は70歳まで働く人が多く、なかなか集まらない。そういったところからメスを入れたいし、入れてほしい。

参加者

私の区では、教科書通りではなく、具体的な決め事をしようということで、町会長に1軒1軒回ってもらい避難時にどういう内容の支援を要請するかなど確認してもらったところ、市防災安全課が作成している避難時の支援者リストとは大きく異なった。

また、東地区に限らず、車椅子で生活をされている方をピックアップし、避難先となる介護施設の確認などの対策を講じてもらいたい。

移住については、企業や大学などを誘致できれば、リニアとの相乗効果で移住者が増えるのではと思う。

参加者

以前と比べて、特に駅前には寂れた感じがある。まちなかを歩いてもらい、栗きんとんをお店で買って、ベンチを置いて食べてもらう、そういった取り組みが必要ではないか。

空き家対策として、もっと有効利用して若者を呼ぶとか、安く貸し出すとかいったことができれば活性化につながるのではないかと思う。

また、少子化対策として、おむつの無償配布など目玉施策が必要。

市長

どういう状態が活性化と言うかだと思うが、1つはにぎわっていることであり、にぎわいは何かというと人が回遊していることだと思う。そのためにはまちなかを歩いてもらえるような拠点作りが大事で、空き家・空き店舗をいかに活用するか。

参加者

ひと・まちテラスについて、使用料が高いという声もあり、なかなか使いにくいところがある。

市長

高いと感じるかは個人差があるが、1時間何百円で借りられる程度で、決して高いことはないかと思う。中央公民館と比べれば若干高いが、夜遅くまで使えて、設備も整っている。まちなかの施設として有効に活用してもらえたらと思う。

参加者

新火葬場は今の場所に作れないのか。

市長

今の場所がどうこうということではなく、どこが一番適切なのか、市内の候補地を選定しているところ。まずは数を絞り、そこから詰めていく必要がある。

参加者

短期的な話と長期的な話が混在してしまっているが、かつての生活と異なり、親子での生活が基準になってきて、他の地区に家を建て、まちなかから出て行ってしまっている。短期的には、結果として家を継ごうとならず、廃業せざるを得ないと心配している方がいる。

長期的には、駅前に人を呼ぶために何をやっていくか、どうしていくか、市としての考えをもう少し明らかに伝えてくれると、何か協力しようかなという気持ちも出てくると思う。

参加者

少子高齢化が進む中、新町区は商店が多いが、後継ぎがない。また、移住者がどのような目的、形で仕事をされているのか伺いたい。

市長

1つは農業をやりたい方が一定数いるが、詳細までははっきりと把握していない。

また、先ほど意見のあった、いわゆるグランドデザインが必要。リニア駅とは異なる、中心市街地の特色を出していかなければいけない。

それを今年度、市で進めているので、皆さんにも意見をいただければと思う。

参加者

今の時代、ネットでの情報発信が重要。中京学院大学の学生が町中にもっと関わられる機会があればいいと思う。

参加者

人を惹きつけるという点では、道の駅がある。いかにその土地にしかないものが返るか。他地域と差別化できるものが必要。

参加者

リニア駅とまちなかをモノレールで結ぶとか、夢のようなことではあるが、できるといい。また、中津川駅前の駐車場について、観光バスが止められるよう考慮してほしい。

参加者

まち協の健康福祉部会では、子ども食堂を運営しているが、自分たちの場所を作りたい。来年4月に統合する一色保育園の空きスペースを利用したい。

参加者

まち協の拠点もいる。多目的で使えるようにしてもらえたら。

参加者

市民協働課と調整中で、難しいところもある。また、皆さんに説明する。

参加者

中山道マップを活用し、東小学校の生徒が実際に歩く活動をする予定。より多くの方に使ってもらい、まちの活性化につながればと思う。

参加者

市民病院の医者不足について、一部対応ができず、他市に送られることがある。医者の確保は難しいのか。

市長

医者の確保は本当に大変。中津川市に派遣してもらえるためには、市民病院がより魅力的な病院にならなければならない。

参加者

今日はいろいろな意見を頂いたが、引き続きアイデアなどあればぜひ話をしてもらえたらと思う。

市長

今日はありがとうございました。引き続き、市民の皆さんとお話をしながら、施策にも反映していきたいと思う。